

授 業	【 G 】 【 H 】 【 I 】 教養導入ゼミ				区分		開講年次	【 G 】－ 【 H 】－ 【 I 】1	単位数	【 G 】－ 【 H 】－ 【 I 】2
科目名					必 履 修					
科目区分	基本科目									
授業形態	対面開講									
担当形態	単 独									
施行規則に定める科目区分又は事項等										
サブ タイトル	コミュニケーション入門						担当者	野呂 一郎		
授業概要	【概要】	読む、聞く、話す、書く、の基本を身につける。								
	【到達目標】	社会人になっても十分やっていけるだけの基礎コミュニケーション能力を身につける								
履修条件	特になし									
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク		
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ		
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他		
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－（当てはまらない）							
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎（よく当てはまる）							
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎（よく当てはまる）							
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）							
他科目との 関連性	経営学とはコミュニケーションと言い切ってもいい。2年生以降なるべく経営学科目を履修することでこの科目との相乗効果が期待できる									
教科書	毎回資料を配布する									
参考書	特になし									
評価方法	授業への参加度(50%)、課題やレポートなど(50%)を総合的に評価する									
フィードバック 方法	課題、レポート等はコメントを付して返却する 随時口頭にて指示し、双方向のコミュニケーション、学びを尊重する									
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、課題やレポートが未提出等、評価不能の場合には「F」とする。									

授 業 科目名	【 G 】 【 H 】 【 I 】 教養導入ゼミ	区分	開講年次	【 G 】－ 【 H 】－ 【 I 】1	単位数	【 G 】－ 【 H 】－ 【 I 】2
		必 履 修				
授業内容	第1回～3回 情報収集の重要性、図書館の利用法 新聞、雑誌、書籍、ネットからいかに情報をとるか 第4回～6回 コミュニケーションの基礎理論を学ぶ 第7回～9回 アイデア創出法を学ぶ ブレインストーミング等の実践 第10回～12回 議論の仕方を学ぶ グループワーク等 第13回～14回 個人発表 第15回 まとめ					
予習内容	授業で指示のあったテキストの範囲や資料などを熟読する。					
復習内容	授業で学んだ内容について振り返り、ノートを整理する。					
その他	※カリ:【必履修】					